

**校長室から**平成30年11月12日

## 長中生の活動から思う事

11月になり、少しずつ寒くなってきました。一学期は、合唱コンクール、体育祭等の学校行事も多く、生徒達の躍動感溢れる姿をとてもうれしく思っていました。今は、寒さのために、授業中も教室のドアも閉まっっていて、生徒の姿を見る機会が多少減り、寂しく感じます。

それでも生徒達の活躍は目覚ましく、新人大会、各種のコンクールでの活躍、新しい体制での生徒会組織やチーム長町プロジェクトも動きだし、日々の生徒達の成長を実感しています。

そのような中、11月8日(木)の午後、仙台市の先生方が教科毎に授業を参観しながら、授業の質や教科の力をさらに向上させようとする研究会が開かれました。長町中学校では1年生の社会科、3年生の音楽科の授業を仙台市の先生方に提供しました。一つの学校で二つの授業を参観いただくのはとても稀な事であり、手前味噌にはなりますが、本校の先生方の力量の高さも再確認できました。生徒達が早く下校する中、二つのクラスの生徒達(1年1組、3年7組)が授業に積極的に参加してくれました。2つのクラスの生徒達に感謝です。

1年生の社会科の授業では、「元の襲来」に関しての学習が行われました。本校では、今年度、全校体制でグループ学習を取り入れながら、話し合いを深め、自分の意見と同様、他者の意見からも学び、互いに協働して学習しようという事をテーマに取り組んでいます。今回の研究授業でも取り入れられ、多数の先生方が参観している中でも生徒達は普段と変わらない話し合い活動を行っていました。授業後の先生方の討議の中で「グループ活動がスムーズに行われている事自体が素晴らしい。」「生徒から出される意見も的確である。」「発表者が堂々としていて、他者によく伝わっている。」というような高評価をいただきました。教師側の講義を一方的に聞いているよりも、自分達で調べ、話し合い、深めた内容は、自分の考えが再構築されたり、より深い知識となったりして定着していきます。長町中学校全体の学力の高さもこのような取組の成果の一つではないかと指導・助言の先生方からお話をいただきました。

3年生の音楽の授業では、授業が始まる前に、何曲かを生徒が合唱している姿を見た他校の先生方が、まずはその真剣さと合唱の質の高さに驚いていました。もちろん授業の質も高く、生徒達が「この部分は、このように表現したい。」「こんなふうに歌うと、もっとよくなる。」等の意見が本当に自然な形で出され、さすが3年生だなあと感心しました。授業後に他校の先生方が校長室に訪ねてきてくれて「なぜ、あんなふうに歌えるのか」「研究授業でなくてもいつもこのように歌うのか」「どのようにしたらあのような姿になるのか」と何度も同じ質問をされました。私自身も3年生の授業をとてもずらしいと感じながら、わずかな時間しか立ち会えませんでした、感動しました。

この原稿を書き始めている今、1年生では、地域の方々と交流する「我がまち絆プロジェクト」を実施しています。1年生も本当に中学生らしくなり、人の話を聞く態度も活動に取り組む姿も大人になってきました。開会式では地域の方々からも「聞く態度が素晴らしいですね。」とお褒めの言葉をいただきました。やはり、日々の積み重ねが大切ですね。

中学生には、多くの失敗はあります。そしてトラブルもあり、一人一人の課題もあります。しかし、このように日々の活動を繰り返しながら、成長していくのだと思います。